



申5号「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」団体交渉実施！～その②～

④ 本施策で派出を廃止する理由を明らかにすること。また、派出廃止に伴い、障害発生時の足ロスをどのように解消するのか明らかにすること。

確認事項 障害発生時、早期復旧に努める。

組合：今施策で派出を廃止する理由を明らかにすること。

会社：デジタルツールの活用や営業線モニタリング等の高度な検査データを活用した広範囲での保守管理が可能となったため、派出を廃止する。

組合：今後派出はどのように活用するのか明らかにすること。

会社：大雪や台風等の体制や通常業務で移動時間を効率的に業務が出来る時等、移動時間を考慮し、今後も活用する考えである。

組合：これまで派出から異常時等で出動した件数を明らかにすること。

会社：2023年度では10件以下である。断線対応や害獣対応、ボルトの欠落等である。また過去2年間、30分以上運転見合わせによる事象は発生していない。

組合：障害発生時、足ロスをどのように解消するのか明らかにすること。

会社：線路陥没等は社員が巡回中に見つけることが多く、足ロスは発生しない。また派出設置当時と比べ、高速道路の開通で現場までの到着時間短縮やモニタリング装置で毎日データが届くため、変位を確認した際に処置することが出来ている。

組合：障害発生時の足ロス解消に努めること。

会社：対応方法や対応手段などを検討し、早期復旧に努める考えである。

⑤ 本施策で企画安全グループと計画推進チームの業務内容を明らかにすること。また、業務の融合に伴い新たに業務を担う場合、教育・訓練は丁寧に行うこと。

確認事項 業務に必要な教育は行う。

組合：企画安全グループの業務内容を明らかにすること。

会社：安全に関わる教育等を行う。施策実施後も業務内容に変更はない。

組合：計画推進チームの業務内容を明らかにすること。

会社：今施策では検査から工事の発注、施工後の確認等のPDCAサイクルを回すことで、一貫した業務推進体制を構築する考えである。

組合：今回、メンテナンスGと工事戦略Gを融合する理由を明らかにすること。

会社：これまで分担して業務を行っていたが、検査や修繕、発注等を通じて業務を深度化が図れる。また物事を多角的に見ることができ、メンテナンスレベルの向上を図っていく考えである。

組合：これまで検査のみを行っていた組合員・社員が施工を携わるにあたり、どのような教育を行うのか明らかにすること。

会社：担当副長が指導することや、業務を通じてグループ間で学ぶ等、個別に指導していく考えである。

組合：業務の融合に伴い新たに業務を担う場合、教育・訓練は丁寧に行うこと。

会社：業務に必要な教育は行う考えである。管理者が本人にフォローして教育する考えである。

⑥ 担務変更に伴う特情教育は確実に実施すること。

確認事項 特情教育は確実に行う。

組合：担務変更に伴う特情教育はどのように行うのか明らかにすること。

会社：初めての担務に就く場合、現地に出向いて訓練や教育等の特情教育は確実に行う考えである。

組合：本施策では指定した分岐器の一部直轄検査を見直すこととなるが、この間の成果や課題、今後の技術継承を明らかにすること。

会社：世代交代を行う中で、分岐器の一部直轄検査を実施してきた。今後はパートナー会社に移管するが、教育・訓練は現場や訓練センター等で引き続き行う考えである。

⑦ 認定線区保守業務の適用エリア拡大に伴う出向が発生するのか明らかにすること。出向が発生する場合、本人希望を尊重すること。

⑧ 本施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

確認事項 本人の心身の状態や家庭状況等、本人希望の把握に努める。

組合：今施策で出向が発生するのか明らかにすること。

会社：認定線区拡大に伴い、保守管理のノウハウ等をユニオン建設に引き継ぐため、出向は発生する。なお、分岐器の一部直轄検査業務の見直しに伴う出向はない。

組合：本部一本社間で確認したジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

会社：希望は年1回の自己申告書に基づいた面談や、管理者と日々のコミュニケーションで把握する。

組合：施策の希望は納得感である。心身の状態や家庭状況等も考慮すること。

会社：本人の希望の把握に努めるが、必ずしも叶うわけではない。社員の成長を鑑みて異動や担務の指定を行うこととなる。

組合：今施策では1つの職場となるため、発令行為がない。本人の住環境や通勤範囲等に配慮すること。また、担務変更の指定は一定の期間を設けること。

会社：通勤範囲が広がるため、寮や社宅の貸し出しも行う。担務変更は本人とコミュニケーションを行い、タイミングを見て、期間等を設けて伝える考えである。